

障害のある子どもたちの発達支援



氏名	林 恵津子 教授 (臨床発達心理士)
所属	社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻
URL	https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid3334.html?pdid=206haya
研究分野	<ul style="list-style-type: none"> ●発達支援保育(幼稚園や保育所における発達支援) ●重症心身障害児の発達評価
キーワード	発達障害、特別支援教育・保育、重症心身障害児

■ 研究シーズの概要

- 内因性瞬目を指標とした重症心身障害児・者の発達評価
重症心身障害児・者は重度の身体障害があるために、感情や意図を表すことに制限があります。そのため、働きかけなどを受けとめているか、体の動きや表情で判断が難しく、支援者や保護者の燃え尽きの原因にもなっています。
瞬きは厳しい運動障害があっても発現することが多く、簡便な機器で記録できます。そこで瞬きを用いて興味関心や注意の持続について評価を行っています。
- アメリカ合衆国における重症心身障害児療育のあり方に関する研究
アメリカ合衆国ニューヨーク州の重症心身障害児病棟に療育スタッフとして参加しています。療育のあり方や多職種連携について取材しています。
- 幼稚園や保育所における発達支援についての研究
幼稚園や保育所には、発達に課題のある子どもたちが少なからず在籍しています。集団の中で障害のある子どもない子ども「皆ととも育つ」支援のあり方を探っています。

■ 共同研究のご提案

事業所等の職員様や保護者様と、日常生活における子どもさんたちの様子などについて情報をやりとりしながら、瞬きを測度とした重症心身障害児の発達評価を行っています。

■ 特定講座のご提案

自治体や事業所から依頼を受けて以下のような研修を開催しています。

- ・幼稚園や保育所における発達障害のある子どもの支援のあり方
- ・保護者支援のあり方
- ・乳幼児の発達の道すじ
- ・障害のある子どもたちの就学支援

■ アピールポイント

子どもが持てる力を最大限に発揮し幸せに成長できるよう、子ども中心にした支援を大切にしています